

事例 13 カフェから始まるコミュニティづくり（大阪府大阪市北区中崎町地区）

概要

戦争で焼け残った長屋街のある中崎町地区で、2001年に築130年の長屋がカフェとして再生された。通りすがりの人も含めて延べ1,100人以上が手伝い、廃材を出さず、地域のもらい物や拾い物で構成する空き家再生方法が注目を集めた。現在は、バックグラウンドの異なるアーティスト30余名が日替わりマスターとして共同運営している。カフェとしての母体を持ちつつ、ライブ、ダンス、芝居、展示会等のイベントを行い、ミックスカルチャー発信の場として機能している。

カフェのほかにも、劇場、映画館、BAR、本屋、ゲストハウス、ラジオ局等、空き家や木造倉庫をセルフビルドで改装した古民家リノベーション施設群が展開され、地域コミュニティが拡大している。

テーマ	廃材を出さない長屋再生によるコミュニティの拡大
主体・キーパーソン	パフォーマーJUNを始めとするアーティスト、若者
手法・技術	セルフビルド 廃材を出さない古民家再生 住民のコミュニティとアーティスト・若者のコミュニティの融合



地図：大阪梅田駅徒歩10分、
地下鉄中崎町駅4番出口徒歩2分
(出典：天人HP)

背景

中崎町地区は、大阪空襲で戦災を免れ、都市開発にもさらされず、狭い路地を挟んで簡素な長屋が向かい合っている。路地は住民のプライベートスペースのようになっており、下町風情が今も残る。しかし、長屋には高齢者が多く住み、また、空き家も多い。その上、梁が貫通して4軒前後がつながっているという長屋の特徴上、空きが出ても部分的に建替えることが難しく、全てが空くまで待ち、建て替えたり駐車場にしたりするオーナーが多い。

一方、中崎町地区は、大阪や梅田の駅から近いこと、家賃が安いこと、古い木造の空間が残っていること等から、リノベーションを行い、カフェや雑貨屋、ギャラリーを開く人

が増えている。1997年に中崎町地区では初の長屋リノベーションとなるギャラリーがオープンして以降、20～30代の若者を中心に長屋をリノベーションした店舗が多くなっている。

取り組みの内容

1. 空き家再生パフォーマンス

2001年に、アートパフォーマンスのJUN氏が、築130年の廃家屋を借り、カフェ&フリースペースに再生した。再生の過程を空き家再生パフォーマンスとして公開することで、近所の人や通りすがりの人、口コミで集まった人、延べ1,100人以上とともに完成させた。ごみを出さないことをコンセプトにしており、廃材や地域の粗大ごみを利用し、現場で抜いた釘ものばして再利用した。天人にはいつか使うかもしれないものを置いておく倉庫があり、必要な時に各店舗で利用されている。中には、直接連絡があり、府外から持ち込まれることもある。

この空き家再生パフォーマンスは同地区にカフェブームを巻き起こし、「Salon de AManTO 天人」は古民家リノベーション施設群としてその後も展開されている。

2. コンセプト

天人はAManTO、AManTOはA Man toを表し、エスペラント語で「愛する人」、英語で「celestial being」（天の人）、日本語で「天下人」を指す。

そこに訪れた人はすべて、天下人になる場所。
一人一人が自分の存在を思い出し、社会での役割を定めていける。
すべてが、この星の一部として機能し、すべてに還元されていく。
人生の時間が芸術となった時、その人は光り輝く。
(中略)
幸せはその昔、与えられるものではなかった
誰に与えられずとも、人そのものが幸せ自体だったから。
人が大地と調和して、すべての人がそれぞれの道で天下人となった時
人類は celestial being（天の人）になる。
(出典：天人 HP)

3. カフェ本店 Salon de AManTO 天人

最初に天人として再生されたカフェ&フリースペースであり、グループ店の要として存在する。現在ではバックグラウンドの異なるアーティスト30余名が日替わりマスターとなって運営している。1階はカフェになっているが、ミニFMや暗室、茶室があり、プロジェクターやパソコンが置かれる等、地域住民の共有スペースのようにになっている。また、様々なサークル活動やイベントが行われており、ライブやダンス、芝居、展示会、セミナー、上映会、パソコン教室、語学教室等が、天人を訪れる人によって自主的に企画され、学び

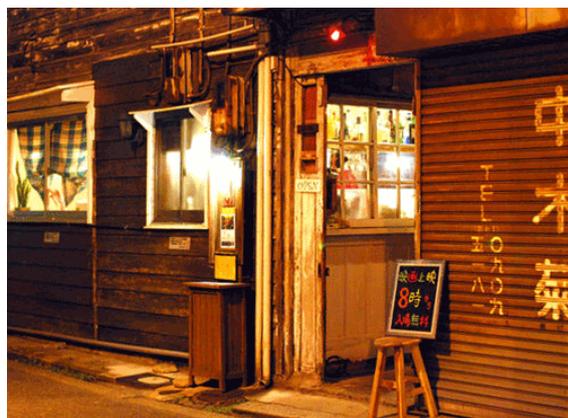
合いの場となっている。

お店のコンセプトは「公園」で、縦軸に子どもからお年寄り、横軸に様々なバックグラウンドを持った人が集い、化学反応を起こす人間再生の実験カフェを目指している。現代美術界では「サステイナブルアート」、「コミュニケーションアート」の新しい流れとして注目を集めている。



カフェ内観。元は廃屋だった。

(出典：天人HP)



天劇キネマトロン。元は印刷工場だった。

(出典：天劇キネマトロン HP)

4. 自主映画上映場 天劇キネマトロン

本上映場が設立される前にも自主映画の定期上映会は開催されていたが、上映環境を整えるために、天人のネットワークが築 80 年印刷工場の建物を約 5 万円で改装し、2008 年に開設された。店内には麻雀荘で使われていた椅子やサイドテーブル等が使われ、併設されているバーには、江戸時代の庄屋が使っていた水屋箆筒が置かれている。ほぼ毎晩、自主映画の上映会が行われており、無料で鑑賞できる。

上映後には、併設されたバーで自主映画の監督やスタッフと直接映画談義が行える。映像系の学校の生徒や卒業生が自主映画の監督には多く、観客の生の声を聞くことができるため、自主映画の向上につながることを狙っている。

5. ネットショップ「純環」

様々なアートプロジェクトを地球、大地につなげていくシステムのことで、現代の人間中心の「ART」から、次世代芸術＝「EART」（天然芸術）に変えるための実験プロジェクトの一つ。「企画者」→「デザイナー」→「消費者」→「大地」と、人類の消費行為を大地に循環させることを目指している。

「純環」商品は、純環ロゴマークが入っており、商品の定価 10%が寄付、募金に充てられる。購入者は福祉、環境、教育、医療、被災復興等の設定された寄付対象から興味のある分野を選ぶことができる。

寄付対象は毎年消費者から希望者を募集し、年度ごとに有志による選考会を立ち上げ、購入者も積極的にプロジェクトに参加できる。集まった資金の使用方法は、Pod Casting site 「AManTo NOROSHI Cast」の中で追跡番組を企画しており、どのように貢献したの

か知ることができる。

6. 地域との交流

現在の中崎町地区は 60～70 代の高齢者が多く住み、新たな住民との間に相当する、40～50 代の世代が少ないため、地域のお祭りが無くなってしまう可能性もある。天人は町内会に入っており、町に 7 年間呼びかけることで、氏子（地元の生まれ）しか参加できなかった儀式に参加できるようにする等、お祭りにも積極的に参加している。また、カフェやギャラリー等が、新たな文化を作り出し、人を呼び込むきっかけにもなっている。

また、天人では、子どもにジュースを一杯無料で提供しており、子どもだけが訪れることもある。カフェは若者ばかりで危ないイメージが持たれがちだが、そのようなイメージもなく、地域の親からの信頼も得られている。

天人では「マント」と呼ばれる地域通貨システムを持ち、コミュニティ独自の経済と人間関係がより自然に循環されるようになっている。「マント」は所有するお金を表す単位で、「アート」はボランティア活動に対するポイントを表しており、これら 2 つを実社会の経済交渉に代わるものの目安にしている。

成果と課題

20～30 代という若い人たちが空き家をリノベーション、コンバージョンすることで、町の雰囲気そのままに、地域のコミュニティを寸断することなく再生している。天人では、一つの社会的コミュニティが存続する際、そこに文化が創造されることを重要視しているため、様々な活動を行っている。現在は黒崎町、浮田と広がり、路地裏に劇場、BAR、本屋、ゲストハウス、ラジオ局、薬膳カフェ、ベジタリアンカフェ、ミュージアム、ヘアサロン等が拡大している。癒しと和みのスロータウンとしてだけではなく、アクティブなエネルギーに満ちた町の火付け役になったとしてマスコミ等から関心を集めている。

空き家パフォーマンスを行った JUN 氏は、天人が、田舎でのスローライフ、都会での社会生活の「間」をとったコミュニティという中立的役割を持っているという。町おこしや人々の夢の実現のモデルケースとして、さらに、紛争や貧困地域に紹介したいとの希望を持っている。また、「あまんとみち」構想という、旅人が立ち寄れる全国の拠点をつなぐ「旅する学校」のプロジェクトも進められている。ここでは、現金ではなく地域通貨やバーターを基本として労働と引き換えに、その日の宿代や食事代を提供し、各地の受け入れ先で自分の天職を探す仕組みになっている。東京墨田区、福岡、沖縄に拠点を持つ。

天人では、町を残すというコンセプトで動いているが、人が多く集まるようになると大手事業者の参入があり、現在の個人が行うスタイルが変わってしまう恐れがある。大手が参入してくるような流れになることを天人では危惧している。さらに、高齢者が多いことから、売却等により、町が残らない可能性がある。

[参考文献・資料]

- サロン・ド・アマント天人 HP <http://amanto.jp/japanese>、<http://katy.jp/amanto/>
- 株式会社 大紀元 HP (2009/7/31) <http://www.epochtimes.jp/jp/2009/07/html/d15327.html>
- 山口雄一 (2006) 大阪長屋リノベーション「空堀商店街周辺と北区中崎町界限」レポート
<http://forum.inax.co.jp/renovation/forum/repo010-osakanagaya/report010.html>
- JuNk StAgE HP <http://www.junkstage.com/academic/morita/?p=56>
- 純環 HP
<http://shop-online.jp/JUNKAN/index.php?PHPSESSID=92343bb80e431b695448ac002a11cb25>
- JUN HP <http://junjugem.jugem.jp/>